



牛やブタのふんはなぜ肥料になるの

作物の生育に必要な肥料

作物の生育に必要な養分のことを肥料といい、作物がそのからだをつくるのに必要な成分は、次の10の要素です。

窒素、リン酸、カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、いおう、炭素、水素、酸素。

このうち、特に不足しやすく、作物を育てるのに必要な要素は、窒素、リン酸、カリウムの3つで、これを肥料の3要素といいます。

動物のふんも肥料に

牛やブタなど動物の消化管から体外に出されたふんには、消化できなかった食物や、消化管のねんまくや、消化液にふくまれるいろいろな物質がふくまれています。また、肥料の3要素の窒素、リン酸、カリウムや、ほかの要素もふくまれているのです。

ふんの中のタンパク質や糖分などの有機物を、土の中にいる微生物が、カルシウム・リン・カリウム・ナトリウムなどの無機物に分解して、これらの水にとけたものを作物がからだに取り入れて、成長するのです。（監修 中山 周平）

